

膵臓疾患を併発した高脂血症の犬 2 例

名倉理恵¹⁾、駒林賢一¹⁾、山中勇²⁾、荒井延明³⁾、武井好三¹⁾

要 約

高脂血症が見られた犬で、急性膵炎あるいは糖尿病を発病した犬 2 例を経験した。2 例ともに膵炎の治癒後、リポ蛋白分析(LipoTEST)を行い、結果に基づいて高脂血症の治療を行っており、現在再発は見られない。また、糖尿病と慢性肝障害を併発した 1 例は高脂血症の治療後、必要なインスリンの単位が減少し、肝酵素の低下が見られた。高脂血症の治療と、その関連疾患について考察した。

はじめに：高脂血症とはトリグリセリドあるいはコレステロールが高値の場合を指す。ヒトにおいて高トリグリセリド (TG) 血症は、膵炎、動脈硬化促進の危険因子になり、肝、脾腫をおこすと言われている。犬でも高トリグリセリド血症は、急性膵炎や神経障害、脂質眼房水、網膜脂血症、尿石症の危険因子とされている。一方、糖尿病や甲状腺機能低下症、副腎皮質機能亢進症、腎疾患、肝疾患、妊娠がみられる動物において、高トリグリセリド、高コレステロール血症を併発することが多い。しかし、これらの疾患と高脂血症との関連性について検討した文献は少なく、メカニズムも不明な点が多い。今回、高脂血症が存在する犬において膵臓関連疾患（糖尿病、膵炎）の発生が見られたため、その 2 例について報告する。

症例 1：サモエド、14 歳、雌、体重 26.9kg、BCS3/5、糖尿病の既往歴なし

2006 年 7 月 29 日、初診時高血糖と子宮蓄膿症を認め、卵巣子宮摘出術を行った。この時点よりインスリン投与を開始し、この後も NPH による血糖値の管理継続が必要であった。

2007 年 1 月 18、食欲低下、嘔吐を主訴に来院。2 日前にポテトチップスを 1/2 箱食べてしまったとのこと。血液検査所見では CRP 上昇、ALP 上昇、総ビリルビン上昇、PT、APTT 延長が認められた。超音波検査で、肝臓に多数の低エコー結節が見られ、上腹部に腫瘤を認め、膵臓領域に不均一なパターンが見られた。レントゲンでは腹膜炎所見を認めたため、精査のため試験開腹を行なった。膵臓の一部が腫大し、胃の漿膜面を巻き込むように存在していた。また、膵臓全体に著しい浮腫が見られ、肝実質には直径 2-3mm の白色結節は散在していた。病理検査所見は肝細胞の脂肪沈着、水腫様変性が見られ、膵組織には変性・壊死が認められた。これら所見より、急性膵炎および脂質代謝障害による慢性肝障害が考えられた。

治療過程において、ALP 上昇、Tcho 上昇、TG 高値が見られた。膵炎治癒後にリポ蛋白分析 (Lipo TEST) を行ったところ、VLDL と LDL 分画に上昇が見られた。この結果を受け、VLDL 産生低下作用のある高トリグリセリド治療薬である、クリノフィブラートを使用し、食事

は低脂肪食に切り替えた。これにより TG の低下が見られ、ALP の低下および必要インスリン量の低下が認められた。

症例 2：シーザー、11 歳、避妊雌、体重 5.95kg、BCS3/5、既往疾患：緑内障
以前より採血時に乳び様血漿が認められていた。

嘔吐、下痢を主訴に来院。急性膵炎と判断し治療を行なった。治癒後に Lipo TEST を行ったところ、カイロミクロン分画の上昇が見られた。この結果を受け、クリノフィブラートの投与と、低脂肪食の給与を行なった。しかし、トリグリセリドの低下が認められず、リポ蛋白リパーゼ活性化薬であるエラスターゼの投与を行なった。現在までにトリグリセリドの低下が徐々に認められている。その後、膵炎の再発は見られていない。

考察

高脂血症は獣医学領域において、治療薬の使用方法も確立されておらず、他の疾患との関連性も研究が進んでいないのが現状である。今回、症例 1 において糖尿病のコントロールの過程で高脂血症の管理を行ったところ、インスリンを減量することができた。高トリグリセリド血症の動物ではインスリン感受性の低下が生じると言われており、これを改善することによってインスリン抵抗性が低下したのかもしれない。このことから、糖尿病の動物では同時に起こってくる代謝障害に対して管理を行なっていくことが治療の一助になると考えた。また、現在無症状でも異常にトリグリセリドが高い動物では、膵炎、糖尿病など疾患のリスクが高いと考え、治療を積極的に行なっていくことが望ましいと考えた。今後、治療薬の使用指針や疾患との関連性について研究が進んでいくことが望まれる。

図 1

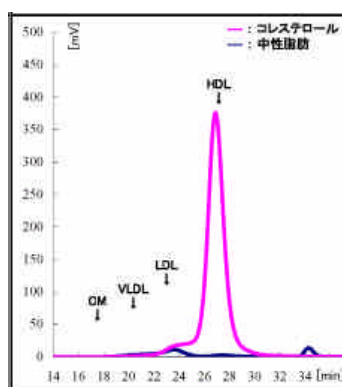


図 2

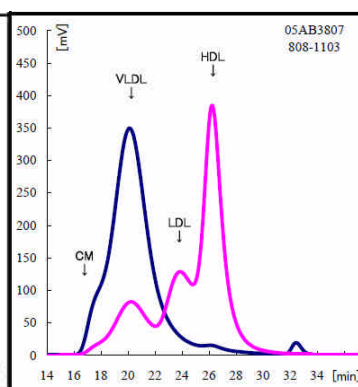


図 3

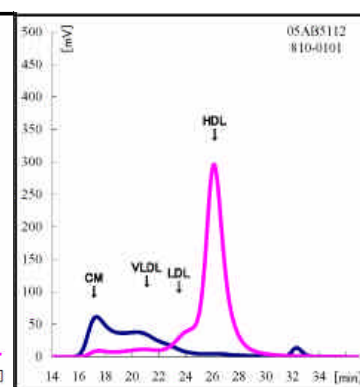


図 1：正常

図 2：症例 1：特に VLDL 中性脂肪の上昇が顕著

図 3：症例 2：カイロミクロン (CM) の上昇

- 1) ノア動物病院：札幌市豊平区美園 1 条 5 丁目 1-37 Tel:011-841-0729
- 2) 釧路動物病院：釧路市入江町 7-1 Tel:0154-23-1122
- 3) スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社